

座間市市民協働課 14条関係)
 令和 2年 4.22 受付
 第 号

相互提案型協働事業実施報告書

2020年 4月 22日

(宛先) 座間市長

団体住所 座間市さがみ野2-6-9-101美容室c a n c a m内

名称 さがみ野やすらぎ街づくり委員会

代表者氏名 阿部 隆市 庚三



市担当課 公園緑政課

所属長 高橋 一三



次のとおり報告します。

1 事業名	赤い向日葵プロジェクト市道14号線東原緑地帯事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	平成30年度選考 (令和元年度実施)
4 報告期間	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日まで
5 事業費	556,346円 (うち座間市支出分 500,000円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>5月の冬の花の撤去作業、6月の植栽作業は、スポーツ少年団・南中1年全員・米軍・白寿会の老人と老若男女が多数参加し、赤い向日葵を通じて地域交流・国際交流に貢献した。また、赤い向日葵の前に小さな黄色のひまわりを植栽し、より赤い向日葵を強調することが出来た。</p> <p>さらに、冬のひまわりにも挑戦し、多くのメディアの取材もあってこの事業は大いに成果が出た。</p> <p>座間市の花「向日葵」をさがみ野地区としてどのように関わり、また、この小さな規模で大きな成果を出せるかの挑戦の3年間だった。そして、いかに感動を与えられるかもテーマの一つだった。3年間それぞれが新しい挑戦であり実験だった。成功もあり失敗もあったが、それを今後の糧として花の街づくり・赤い向日葵の街として今後も継続したい。</p>
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ()

相互提案型協働事業評価シート

事業名	赤い向日葵プロジェクト市道14号線東原緑地帯事業
-----	--------------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	ほぼ達成した	きれいな花を見た人達から、街がきれいになったと沢山声をいただいた。東原地域は、きれいな場所だと浸透してきたので、十分達成できたと思う。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	神奈川新聞に赤い向日葵掲載 テレビ神奈川18時ニュース番組で リポーターが来て紹介 FM横浜 藤田リポーターが紹介 一時ヤフーニュースでトップを飾る FBにて多くの方が紹介 カメラマンが多数訪れる 新たに3団体の少年スポーツクラブ との共同作業ができ 子供たちの花育 事業として大きな成果があった	・街がきれいになり、地域の美化意識が高くなった。 ・みんなで作業したことによって、地域の人と人との繋がりが強くなった。 以上のことから地元愛を持つ人が増えた。

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	ほぼお願いした事はしていただいた	回数を重ねてきたので、共通の認識を持つことができるようになった。

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	お互いに忙しい中で、直接の話し合いは持てなかったが、電話・メール等で進行管理は共有できたと思う。 春の花の撤去作業 耕運作業 植栽作業 草刈り2回 向日葵の撤去作業 耕運作業 冬のひまわりの植栽 草刈り1回	作業を依頼する施工業者の都合もあり、スケジュールを合わせるのが難しかった。
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	出来たと思う	役割分担が違うが、対等な立場で協議できた。
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	よいパートナーだった	回数を重ねるたびに、相互理解が深まり補えるようになった。

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <p>花の撤去作業 春 秋 で2回 植栽直前の耕運作業 春・秋各1回 植栽作業 春・秋 各1回 草刈り 春2回 秋1回</p>	<p>(市の役割)</p> <p>① 開始前の草刈り。 ② 耕し作業 (石、瓦礫が多い) ③ 肥料撒き。 ④ 枯れた後の植物の運搬・処分 ⑤ 木の剪定</p>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	我々はできる限りの事は出来たと思う	適正だった。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	すべて完了した	果たすことができた。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	大きな作業は 公園緑政課がやってくれたのでよくできた	地域の人達のつながりが強くなり、地元愛も持ってくれるようになったこと。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>1年を通して 向日葵の街としてのさがみ野地区の役割をはたしていきたい。又市道14号線だけにとらわれず13号線の新たな花壇についても公園緑政課と協議しながら向日葵の街・花の街として環境美化事業を進めたい</p>	<p>(市の考え)</p> <p>今後も連絡を取り合い、市で行なえることは協力し、協働で進めて行くことが望ましいと思います。</p>